

請求の範囲

- [請求項1] (A) 有機溶媒に分散された導電性充填材と (B) バインダー樹脂とを含む導電性充填材含有組成物をシート状体に成形する成形工程と、
- 前記シート状体の一面を加熱することにより前記シート状体の他面から前記有機溶媒を揮発させる有機溶媒揮発工程とを含むことを特徴とする異方導電性シートの製造方法。
- [請求項2] 前記導電性充填材は、ラマンスペクトルによる G/D バンド比が 1.0 以上であり、且つ平均長さが $1.0\ \mu\text{m}$ 以上のカーボンナノチューブであることを特徴とする請求項 1 に記載の異方導電性シートの製造方法。
- [請求項3] 前記 (B) バインダー樹脂はエポキシ樹脂であり、
- 前記 (A) 有機溶媒に分散された導電性充填材は有機溶媒に分散されたカーボンナノチューブであり、
- 前記導電性充填材含有組成物は、前記有機溶媒に分散されたカーボンナノチューブ、前記エポキシ樹脂、エポキシ樹脂硬化剤を含み、
- 前記カーボンナノチューブの含有量が前記導電性充填材含有組成物に含まれる全固形成分に対して 0.1 ~ 15 質量%であることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の異方導電性シートの製造方法。
- [請求項4] 前記異方導電性シートは、厚み方向の抵抗値が $2.0\ \Omega$ 以下であることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれか一項に記載の異方導電性シートの製造方法。
- [請求項5] 前記異方導電性シートは、厚みが $1 \sim 500\ \mu\text{m}$ であることを特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれか一項に記載の異方導電性シートの製造方法。
- [請求項6] (A) 導電性充填材と (B) バインダー樹脂とを含み、
- 厚み方向の抵抗値が $2.0\ \Omega$ 以下であり、面方向の抵抗値が 2.5

Ω 以上であることを特徴とする異方導電性シート。

[請求項7] 前記（A）導電性充填材は、ラマンスペクトルによるG/Dバンド比が1.0以上であり、且つ平均長さが1.0 μm 以上のカーボンナノチューブであることを特徴とする請求項6に記載の異方導電性シート。

[請求項8] 前記カーボンナノチューブの含有量が前記異方導電性シートに含まれる全固形成分に対して0.1～15質量%であることを特徴とする請求項7に記載の異方導電性シート。

[請求項9] 前記（B）バインダー樹脂はエポキシ樹脂であることを特徴とする請求項6から請求項8のいずれか一項に記載の異方導電性シート。